

ばんえい十勝10周年の記念誌刊行によせて

ばんえい振興室・室長 佐藤 徹也

ばんえい十勝が帯広市単独開催となつてから、本年四月で十周年を迎えました。

今こうして十周年を迎えられたことは、ばんえい競馬に関わる者の一人として感慨ひとしおであります。この間、競馬関係者、競馬運営とともに汗を流した多くの方々のご理解とご協力があったの結果であり、また、ばんえい十勝を支え、応援いただいた多くの方々のお力添えがあったること。本当に感謝の気持ちで一杯であります。

北海道の開拓の歴史とともに歩んできた馬たちの活躍の場を消してはいけません。ばんえい競馬を続けていくためには、今、何をすべきかを皆で考え続け、さまざまなアイデアを出し合い、時には意

見がぶつかるともありませんし、時には失敗することもあります。そのひとつひとつが、ばんえい競馬の歴史でもあります。

十周年を迎えての本記念誌の刊行にあたりまして、多くの方々のご協力をいただき、素晴らしい記念誌が完成いたしました。

この十年間のばんえい十勝をこの記念誌に残し、これから、ばんえい十勝は新たなステージに向かってゼロからのスタートがはじまります。

今後とも、ばんえい十勝をよろしくお願い致します。



THE BANEI ～ばんえい十勝 2007-2016～

平成 29 年 4 月 21 日 発行

【発行】帯広市農政部ばんえい振興室

【発行人】佐藤 徹也

【企画・編集】

企 画：株式会社ティワイネット
大嶋 賢洋（インフォビジュアル研究所）
編 集 長：國見亜希子（studioEcrit.）
ライター：豊田菜穂子（リストマニア）
カメラマン：赤堀 正憲（赤堀正憲写真事務所）

【制作・印刷】大同出版紙業株式会社

【制作協力】※敬称略

本記念誌の制作にあたり、以下の皆様に取材・撮影のご協力、資料・画像のご提供など多大なご尽力を賜りました。この場を借りて篤く御礼申し上げます。

山岸 伸 写真事務所
一般社団法人 ばんえい競馬馬主協会
馬の資料館（十勝農業協同組合連合会）
SPC とかちむら（株）
NHK 帯広放送局
NPO 法人 とかち馬文化を支える会
帯広市図書館
帯広百年記念館
神田日勝記念美術館
株式会社 アニプレックス
株式会社 小学館
株式会社 スタイルジャム
株式会社 北海興農ビジネス
株式会社 ポニーキャニオン
鹿追町ライディングパーク
十勝どさんご弓馬会
独立行政法人 家畜改良センター十勝牧場
ばんえい競馬振興連絡協議会
本別町歴史民俗資料館
有限会社 帯広ファーム
小久保 友香

参考文献

「ばんえいまながどくほん」（内田靖夫著・北海道市営競馬協議会）
「北海道鞍馬競走」（北海道市営競馬協議会）
「ばんえい DRAFT RACE」（北海道市営競馬協議会）
「馬文化新聞」（NPO 法人 とかち馬文化を支える会）
「馬事資料 中西関松の時代からと金山明彦の時代へ—ばんえい競馬の近代化—」（古林英一著・Hippophile No.62）
「鈴木銃太郎日記」（田所武編著・柏李庵書房）
「拓聖依田勉三伝」（「拓聖依田勉三伝」刊行会）
「大平原の忘れ得ぬ人々・十勝創生叢書」（柏李庵書房）
「トカプチ」12 号・19 号（十勝文化会議郷土史研究部会）
「ふるさとの語り部」（帯広百年記念館）
「馬の統計・馬関係資料」（公益社団法人 日本馬事協会）
「十勝毎日新聞」（十勝毎日新聞社）
「北海道新聞」（北海道新聞社）

編集後記

その昔、農耕馬自慢から始まったばんえいが今や世界から注目される存在に。背景には多くの方の汗と涙、並々ならぬ努力、情熱、そして馬たちの偉大な力があります。帯広市単独開催 10 周年とともにばんえい競馬 70 年の歴史を記せたことに大きな喜びを感じています。（國見）

本誌の取材を通し、ばんえい競馬に関わる多くの方々にお会いする機会をいただきました。どの方からも伝わってきたのは「ばんえいが好き、馬が好き」という真摯な思い。それがばんえいを支え、馬たちを輝かせているのだと頷けました。たくさんのご縁をいただき、感謝の思いでいっぱいです。（豊田）

本誌の制作は 2015 年に始まりました。1 冊の本を、ゆっくりと、じっくりと作るという、贅沢で貴重な経験をさせていただきました。その間、お付き合いくださった関係者の皆さん、特に佐藤室長、そして服部調教師のお二人には本当にお世話になりました。深く感謝いたします。（大嶋）